

※Demainはフランス語で“明日”という意味です。

大友家の日常

次回につづく...

兄 妹



男性の生涯未婚率 25.7%
結婚してもなくても「生活の自立」が大事です。

女性研究者の割合 16.6%
理系女子「リケジョ」がなかなか増えない日本…。

男女共同参画とは家庭、地域、学校、職場など様々な分野で「男だから、女だから」といった性別による役割分担意識にとらわれずに、一人ひとりがいきいきと活動・活躍し、豊かな人生を送ることができる社会をつくっていくことです。

海外でみる男女共同参画

シリーズ第5弾



人口 140万人(滋賀県の人口とほぼ同じ)
面積 5128km² (日本の約74分の1)
公用語 英語
大統領 ポーラ=メイ・ウィークス(女性)



有名なもの
 スティールパン カーニバル

有名な食べ物 ダブルス
 (揚げパンのようなものにカレー風味の豆が入る)



～トリニダード・トバゴ編～

大分へようこそ

ALT配属の第一希望は大分。調べたところ大分には地震や津波なんかの災害がなかったから。トリニダード・トバゴのあるカリブ海は雨季と乾季の2シーズン。通常、カリビアンは気候的にも九州か沖縄か四国に配属されるよ。

ミドルネーム

ミドルネームの「アムレット」は家族の中で呼ばれるニックネームだよ。母親の旧姓じゃないよ。トリニダード・トバゴでは結婚すると父親の名字になるよ。

トリニダード・トバゴの結婚事情

結婚式で男性が女性を迎えに行って、夫の家(実家)に戻ってそのまま生活を始めるのが一般的だよ。だから大家族。結婚後に女性が働くかどうかはそれぞれだけど、僕の家は共働きだった。しかもママは出産してすぐに働きはじめたよ。母乳じゃなくて粉ミルクだったからね。母が働いている間、専業主婦のおばさんがお世話をしてくれた。でもベビーシッターの制度もちゃんとあるよ。

トリニダード・トバゴの育休

育休もあるよ。期間はちょっと分からないなあ。パパもママも休めるけど、パパで育休をとる人はあんまりいないかな。日本みたいな感じ。

子どもが熱出した時…。(日本だったらほとんどお母さんが対応するよ) そうなの??? できる人がするよー。家族はみんな対等だよ。

家庭内の家事は家族みんなで

パパも子どもたちもみんなするよ。ママがあれしてこれしてと指示するしね。ママはボスだね(笑) みんな仕事が決まってる僕は2階の掃除担当だった。

日本に来てびっくりしたこと

小さい子が一人で歩いていることにびっくり。トリニダード・トバゴでは子どもが一人で歩いているなんて危険すぎるよ。誘拐されたり、人身取引が行われるから。中学生くらいから一人で歩いてまあ大丈夫かな。

うちは父が手伝わなくて、母が「もっとしてよ」って喧嘩していた記憶がある。(苦笑)

たしかに! アメリカで「はじめてのおつかい(TV番組)」を見てたんだけど…。アメリカではこれはあり得ないって話になったよ。



ゲストの友達(通訳)

グラント・ファン(アメリカ出身・27歳)

豊府中学校・高校のALTとして大分在住。好きな食べ物は揚げ出し豆腐。

今回のゲスト

ニコラス アムレット ラジャラウ(33歳)

トリニダード・トバゴ出身。大分在住3年。大分工業高校・鶴崎工業高校でALT(アシスタントランゲージティーチャー)として英語を教えている。好きな食べ物は大分名物・だんご汁。

女性活躍について

日本の学校では女性の校長先生が少ないよね。以前、僕がある女性の教師に「あなたはいい校長先生になれますよ」と言ったら「私には校長先生は無理よ」って返事が返ってきてびっくりした。トリニダード・トバゴでは、今の大統領は女性で、首相も前任は女性だったよ。日本では女性が重要な役職に就くイメージがないのかなあ。

仕事について

日本人はよく働くよね。しかも先生によっては部活の顧問だったりと、さらに大変。そして仕事が終わっているのに、周りの目を気にして帰らない人がいるのもよくないと思う。

トリニダード・トバゴの学校事情

「家庭科」の授業はあるよ。だけど料理と技術が選択だから、やっぱり女子は料理、男子は技術が多いよね。でもシェフを目指している男友達は料理を選んだよ。制服はどの学校もあるよ。ズボン・プリーツスカート、シャツにネクタイで日本と同じ感じ。

性的同意年齢(性行為への同意を自分で判断できるとみなされる年齢。ちなみに日本は13歳・明治時代に制定された刑法のまま変わっていない。) トリニダード・トバゴでは16歳から18歳になったよ。男女かわからずどちらかが年上で性行為を訴えられた場合は犯罪になるよ。

中絶について

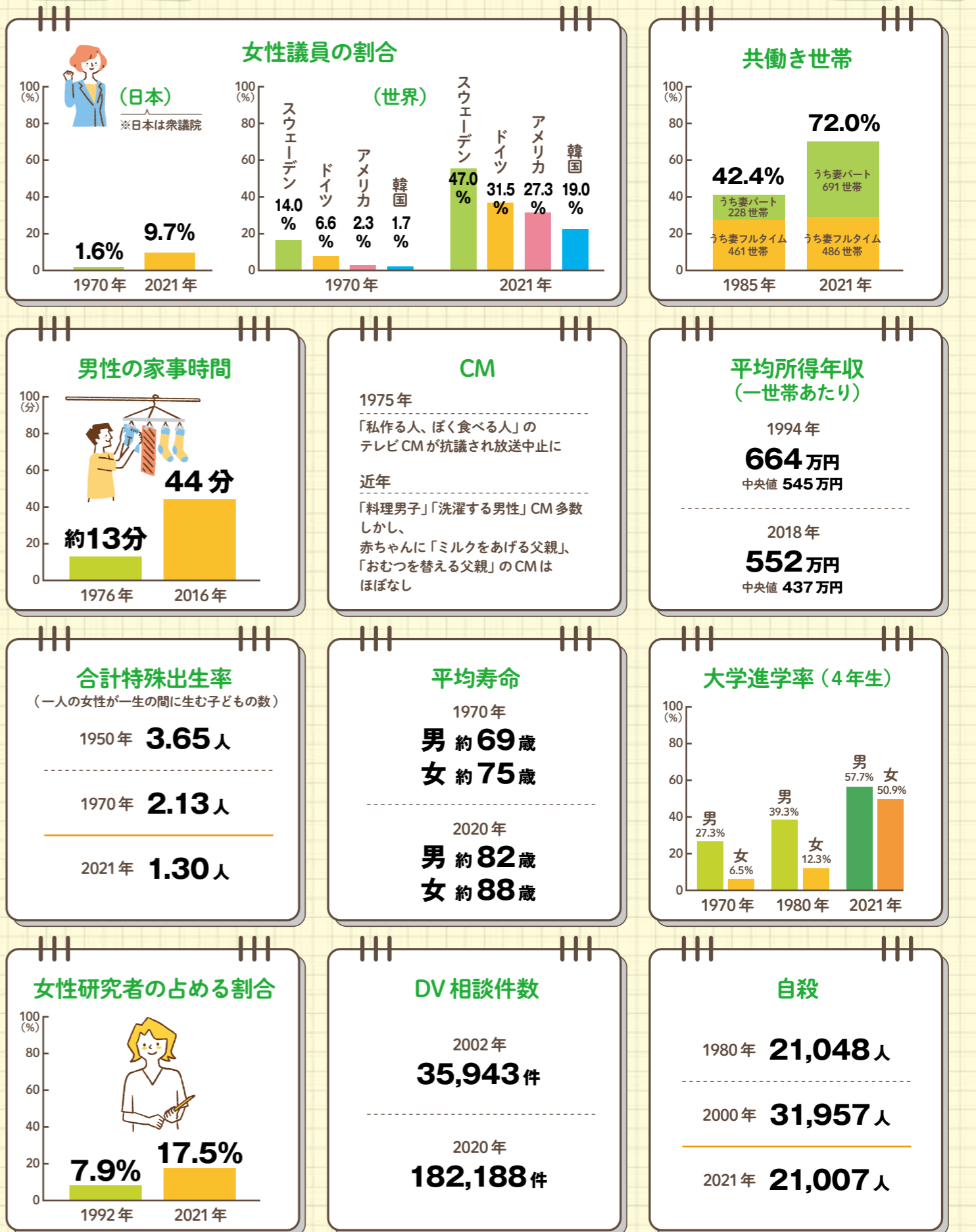
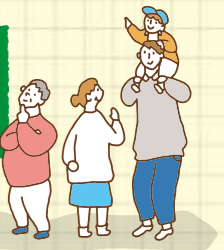
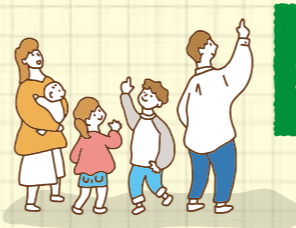
トリニダード・トバゴでは中絶は認められてないよ。レイプなど特別な場合は別だけどね。だけど性被害にあっても通報しないことも多い。言っても信じてもらえなかったりするから…。

トリニダード・トバゴのLGBT事情

とてもポピュラーになっていておそれることはないかな。だけど同性同士の結婚はできない。植民地の頃の影響で、男性は男性らしく、女性は女性らしくという考えが残っている人もいて、僕のレズビアン友達には言えないみたい。

陽気なニコラスと日本語が上手なグラント。ご協力ありがとうございました。カーニバルときれいな海!いつかトリニダード・トバゴに行きたい! ※本人の個人的な感覚が入っていますので、若干、現状とは異なる場合もあります。

数字で感じる 日本の今と昔の男女共同参画



※男女共同参画白書・厚生労働省白書・警察庁生活安全局地域課「自殺の概要資料」 ※一部数字は四捨五入しています。

推進団体紹介

「いづみ会」

大分県退職現職女性教育管理職等の会「いづみ会」

「いづみの清き水の滾々と湧き出るとく、且つ尽きることなく同志出でよ」

小中学校の教職員の半数以上を女性が占める中、「校長・教頭は男性が当たり前」という時代がありました。これにおかしさを感じた女性教職員たちが立ち上がり、「婦人校長・教務主任の会」が誕生し、冒頭の合言葉の下、「いづみ会」と命名されました。しかし、女性管理職進出の壁は高く、1980年代まで「連れ合いの男性を教頭にするために」と、学級経営や生徒指導の力のある40代の女性教諭に退職勧奨が集中していました。そこで、「いづみ会」と現職女性教職員が繋がり、「管理職進出における

男女平等の取組」を強力に進めた結果、1990年代には女性管理職登用が進み、ペア管理職も誕生しました。ピーク時の県内の小中学校の女性管理職は299名でしたが、2012年以降女性の比率は急降下を辿り、2022年現在は144名となっています。

今こそ原点に戻り、女性管理職増に取り組む時です。「いづみ会」は県全体や各地区で研修会を開催したり、後輩に声掛けをしたりしながら、「学校内に女性管理職の居る風景」が当たり前のこととして児童生徒の眼に映り、ロールモデルとなって、女性管理職を目指す人材が育つようにと、日々取り組んでいます。



講演会報告

来場者数 283名。雨にも関わらず大盛況でした。

大分市男女共同参画週間記念講演会
「ふつうの家族にさようなら」

やまくち まゆ
講師：山口 真由さん
(信州大学特任教授)



講演では日本の伝統的な家族モデルは日本の組織にも当てはまり、一長一短がありつつもこれまでは機能してきたが、個の価値観を重視する時代へと変化する中で、これから考えていくべきことについて、男女共同参画の視点を踏まえお話しいただきました。

また、テレビに映る華やかな山口さんのイメージとは違って、過去には人の数倍努力することでしか自分を認められなかったという「自身のコンプレックスとの闘い」のお話や、現在に至るまでの「失敗談」、「テレビ出演の裏話」などに会場が笑いに包まれ大盛況でした。

～来場者の感想～

- テレビでよく見る山口さんの講演を大分で聴けるとのことで、とても楽しみにしていました。ご自身の体験を踏まえながら、働き方や家族の在り方の問題点をわかりやすく話してくださいとでも勉強になりました。
- 山口さんの聡明な話しぶりに圧倒されました。個々のありかたも大切だけど、家族というものもありかたも再認識していきたいと思いました。
- 話し方がとても上手で講演中ずっとたのしく聞くことができました。本音と建て前、難しいこともオープンに伝えていただいて、今まで以上に好感をもてました。多様性のなかで、誰かが我慢するのではなく皆が自分らしく生きていける社会であれば良いなと思いました。
- 一般的な家族や性の問題を法律家としての視点を交えて話して下さって面白かったです。



♥女性のためのなんでも相談（電話・面談）

相談員から一言



本年度より男性相談員も加わり、3名体制で相談をお受けしております。



火曜日・木曜日なら、お仕事帰りの面談も大丈夫！



気軽に、お立ち寄りください。

面談は、おひとりでもお友達とでも。お仕事帰りやお時間のある時など、いつでもお気軽にお越しください。

●月・金・土
相談時間 9:00～16:00

※火・木が祝日の時は月・金・土と同様の時間帯となります。

●火・木
相談時間 13:00～20:00

★第2・第4水曜日は、傾聴セラピストによる面談相談です。

電話相談 TEL.097-574-5578
面談予約 TEL.097-574-5577

